

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト 中間報告まちづくりフォーラム報告

1 開催状況

- (1) 日 時 平成 30 年 8 月 26 日(日) 13:30~16:30
- (2) 会 場 宮前区役所4階会議室
- (3) 来場者 約 150 名

2 実施概要

1. 開会のあいさつ
小田嶋宮前区長からご挨拶いたしました。
2. 意見交換の進め方について
配布資料に沿って、意見交換の進め方についてご説明いたしました。
3. 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について
配布資料に沿って、川崎市市民文化局区政推進課からご説明いたしました。
4. 意見交換
 - ・ 受付で配布した意見票に、ご質問やご意見を記入していただき、全体で共有できるよう、テーマごとに分けて会場内に掲出し、発言希望の方にはご発言していただき、意見交換を行いました。

いただいた御意見・御質問と応答内容

※当日お越しいただけていない方にも分かりやすいよう一部言葉を改めています。

- (1) 配布資料に今日の意見交換を左右する決定的な間違いがあるので意見票を記入する時間に入る前に発言したい。資料1の3ページ右側の表中「利用のしやすさ、使い勝手」の中で、「敷地に高低差があり、バリアフリー対応に課題がある」としているが、区役所には表側かも裏側からも段差なく入ることができ、建物内はエレベーターもある。バリアフリーには問題がないはずである。

(市民文化局区政推進課)

斜面地にあることもあり、市民館・図書館と区役所の間は2階からのみ行き来が出来る状況であり、区役所2階の入口についても土日は空いておらず、1階からのみのアクセスとなっております。

建物の構造的な部分と後から増築した部分もあり、バリアフリー上の課題がございます。
(他の参加者からのご意見)

私は車椅子で移動をしているが、この建物はバリアフリー上の課題が多数ある。

【テーマ:基礎調査】

- (2) 資料1の3ページの表中、コストについて、具体的な数字があまり示されず、修繕計画については現在検討中と読み取れるが、新施設の想定整備費については数字が示されている。この数字はどの程度具体的なものなのか。

(市民文化局企画課)

修繕計画は、現在の建物を建替えまでの20数年使用する場合いくらぐらい掛かるか、一方再開発に伴い移転することとした場合は、移転後維持管理していくにはいくらぐらい掛かるかを検討するものです。どちらも保全に費用が掛かるため、算出していくものです。

新施設の想定整備費は、今後の検討の重要な要素のため、優先的に作業を進めてまいりました。他の事例などを参考に、算出したものですが、条件により金額が変動していくため、専門業者と引き続き精査を進めてまいります。

現在の位置で建替える場合の整備費は、区役所は40～45億円程度、市民館・図書館は55～60億程度と想定しております。

鷺沼に移転した場合の整備費は、区役所は75～80億程度、市民館・図書館は市街地再開発事業に係る補助金が見込めるため、それを差し引いて、市が負担する費用として50～55億程度を想定しております。補助金として20～25億、概ね23億程度を想定しております。

区役所の費用については、幸区役所の建替えを、市民館・図書館については、中原区の市民館・図書館が駅前に移転した時の事例を、参考にしています。その他、他都市の事例も参考にしながら検討しております。

- (3) 資料1の3ページの表中、立地条件の「地形、災害想定」について、「丘陵地、液状化対象外、浸水可能性なし、土砂災害危険区域外」と記載があり、鷺沼駅周辺再編整備に伴い移転する場合についても、「同左」と書かれているが、土砂災害ハザードマップを見ると、鷺沼駅の周りは、県が指定する土砂災害警戒区域に入っている。線路の上を通っている道路があり、被害が生じる可能性もある。鷺沼駅前に区役所を移転すると、区役所に行けなくなる可能性もある。そのような場所に災害対策本部を設置することになる区役所を移転するのは、防災的な視点からいかなものか。

一方、現在の区役所は土砂災害危険区域に入っていない。警察署や消防署も隣接しており、安心できる。

(まちづくり局地域整備推進課)

土砂災害警戒区域になっているのは、線路敷の「のり面」(傾斜面)部分でございます。今回の再開発区域は土砂災害警戒区域には、基本的には入っておりません。線路敷の傾斜

面が土砂災害警戒区域になっていることについては、一定の高低差がある場所は、自動的に神奈川県によって指定されることになっております。鉄道が通る場所のため、鉄道事業者がきちんと防護されているものと認識しております。

資料の表現については、今後精査してまいります。

【テーマ：交通・アクセス】

- (4) コミュニティバスということをよく聞く。高齢化が進む中で、バス通り以外の細い道路を通るようなコミュニティバスについて、市が運営するものに限らず、予定されているものはあるのか。

(まちづくり局地域整備推進課)

川崎市の交通の考え方は、路線バスが中心でございます。まずは、バス事業者と連携し、路線バスの充実に向けてまいります。今回の取組では、鷺沼駅の交通広場が狭いので、広げて、バスバース(乗り場)を増やして路線バスを充実してまいります。

コミュニティバスは、現在麻生区等で実施しておりますが、地域の方々を中心に運営していくもののため、まずは路線バスネットワークの充実を検討していく予定でございます。

- (5) 宮前区のまちづくりにこれまで東急電鉄が果たしてきた貢献度は非常に大きい。しかし、区内を東西に走る電鉄は、通勤等での利用が主であって、域内交通にはなりにくい。南北を繋ぐ交通手段として路線バスが重要だが、鷺沼を中心にした路線バスネットワークを構築できるのか。

現在の区役所前の東急ストアと隣接商業施設周辺を一体的に再開発し、1階部分はバスターミナルに、2階以上は商業施設にすることができれば、すべての人の利便性が高まるのではないかと。

(まちづくり局地域整備推進課)

市の路線バスネットワークは、鉄道駅に接続するよう路線を検討しております。今回の鷺沼の再開発で交通広場を広げ、路線バスを充実してまいります。

宮前平の再開発については、貴重な意見として受け止めさせていただきます。

(他の参加者からのご意見)

区役所前の道は幅員が広いと、印象としては利用拡大のアイデアがあるが、もともとこの道を東急バスが通るようになった理由は、国道246号で事故などがあるとバスが動けなくなってしまうことへの対応だったことがある。また、宮前平駅から区役所までの道が急坂のため、大雨や雪の際にはバスが動けなくなってしまうという現状もある。

【テーマ：検討の進め方】

- (6) 今回の取組について問題がある。6月7月に入ってから地域の住民に聞いても何も知らないと言っている。関係団体説明・ヒアリングの中で、区全町内・自治会連合会に説明した

とあるが、私が属する町会長もこの件については関知しないと言っている。意見交換会についても5月27日のフォーラムの日をもって〆切としていたが、そのようなやり方で何が分かるのか。

本日のフォーラムの意見交換についても、今日渡された資料で意見交換するなどあってはならないことである。

意見交換会についても、フォーラムでは移転反対の意見が多かったのに、意見交換会の雰囲気はまったく違う。賛成派だけで構成されている。意見交換会の参加者は鷺沼駅周辺の住民が多いようである。ファシリテーターについても、コンサルタントと市職員で実施しているが、大学のセミナーなどを聞いてもやってはならないことと言われており、有名な話である。意見交換会の人数を増やすという話はどうなったのか。意見交換会の参加者は固定するべきではない。横浜市では30%は入れ替えるようにしている。移転に反対の方を集めて意見交換会を実施してはどうか。

(市民文化局区政推進課)

意見交換会に賛成派の方を集めているということはないので、訂正させていただきます。意見交換会の実施手法についても、様々な手法があると考えております。本日のフォーラムの意見交換でも、ワークショップの手法を取り入れ、皆様と作業を通じて意見交換を行うことが一番重要だと考え実施しておりますが、至らない点については、御指摘をいただきながら修正し、進めてまいります。

意見交換会の参加人数については、50人で募集させていただいているので、増やすことは現時点では考えておりません。前回のフォーラムでは、ご要望をいただいて追加で開催する可能性がございますとお答えしたと記憶しておりますが、仮に人数を増やすと発言していたとしたら、それは誤りでございますので、訂正いたします。

(他の参加者からのご意見)

意見交換会の参加者を見ると、鷺沼駅の徒歩圏内の方が30人近くいる。鷺沼の話をするのに、鷺沼駅近辺の方を入れるべきではない。徒歩圏の方は交通問題への関心が低いはずである。

(市民文化局区政推進課)

意見交換会は、申し込みいただいた方から地域バランス等を考慮した上で、抽選で決定しており、作為的に鷺沼駅近辺の方を抽出したのではございません。鷺沼駅近辺の方なら賛成というわけでもなく、交通・アクセスについても意見交換会の中で多数ご意見をいただいているところです。

(前述の参加者からのご意見)

集められた意見票を見る時間を作ってほしい。

(他の参加者からのご意見)

発言希望の方は氏名を記載している。プライバシーに配慮してほしい。

(市民文化局区政推進課)

他にも多数発言希望の方がいらっしゃるのので、進行にご協力をお願いいたします。本日いただいた意見票については、なるべく早く、プライバシーへの配慮もした上で、公開してまい

ります。

- (7) 区役所は区内に1か所だけであり、今のところでも遠い人は不便だし、移転して遠くなれば不便になる人もいれば便利になる人もいる。賛成・反対の議論ばかりでなく、区全体のまちづくりを考えるべきではないか。将来のまちづくりという観点からは、もっと若い世代の意見も聞いていく必要がある。

- (8) 宮前区には向丘地区と宮前地区の二つの連合自治会がある。45の自治会からなる向丘地区連合自治会から5月29日付けで陳情書を川崎市議会に提出した。内容は5月末の時点で、市からの情報が十分でないので出してほしいというものだった。8月23日に文教委員会の中で審議され、不採択となった。委員会の中で、「町内会長は地域を代表した意見を持っている方だが、今回の陳情は宮前地区の意見が入っていない、区全体としての考えを宮前区役所が率先してまとめていきなさい」という意見が出た。

今後宮前区役所がどのように区全体の考えをまとめていくのか、考えを聞きたい。

(宮前区役所企画課)

今年の2月から3月に掛けて、関係団体への説明・ヒアリングを実施し、その際、宮前地区と向丘地区の自治会の町会長の方にご説明いたしました。今回の中間報告フォーラムの後、2回目として、9月から10月に掛けて、本日のフォーラムの内容等をご説明させていただく予定です。今回も、宮前地区と向丘地区の2回の実施とするか等、区全町内・自治会連合会にご相談し、進めてまいります。

(他の参加者のご意見)

8月23日の文教委員会での議員の方の宮前区人口に関する発言が誤っていたにも関わらず、その場で訂正しなかった理由を説明して欲しい。

(宮前区役所企画課)

人口比については、宮前地区が約7割で向丘地区が約3割ということは把握しておりますが、委員会の場で3:1という話になった際、訂正をすることができないまま、議論が進んでしまいましたので、この場をお借りしてお詫びいたします。

(市民文化局区政推進課)

議会の公式的な記録については、今後議会局の担当と調整し、進めてまいります。

- (9) 自分は町内会長だが、今回の取組については、関心を持ち、町内会の中で役員会などを通して情報共有を図っているところである。本日の説明、質疑応答について、市の代表として、課長級以上の管理者が行うべきではないか。

現在川崎市全体で地域包括ケアシステムの取組を進めているが、窓口業務については、AI や IoT を活用し、合理化していくのは良いが、福祉に関しては人にしかできないことである。それを身近にしていくのが、地域包括ケアシステムの構築であると考えている。我々の地域で一番身近に感じている場所は出張所である。その出張所の窓口を強化してほしい。現在保健師は電動自転車で坂を越えて、地域まで出向いている。鷺沼に移ると更に大変

になる。出張所で福祉の相談などができるよう機能強化をしてほしい。

(市民文化局区政推進課)

出張所のあり方については、今回の取組以前の課題として、大変重要なものであると認識しております。出張所は現在、証明書発行の拠点になっておりますが、地域包括ケアシステムの拠点として、地域の方の活動の場や相談の場としての活用の可能性について、検討する必要があると考えております。

昨年度、多摩区の生田出張所の建替えに向けて、区民の方と意見交換をさせていただきました。向丘出張所の建替えについては、時期はまだ先になってしまいますが、建替えを待たずに、出張所のあり方については、皆様と意見交換をさせていただき、検討していく必要があると認識しております。

また、質疑応答などは係長級で運営させていただいておりますが、横にいる部長級の管理職に、フォローしていただきながら、運営しております。係長級の職員がお答えをさせていただいておりますが、責任感を持ってお答えさせていただいておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

- (10) 鷺沼駅前に区役所等を移転する場合、向丘地区でも特に初山から西側の蔵敷、稗原、鷺ヶ峰周辺の地域は、ますます遠くなって不便になる。高齢化も進んでいる。溝の口への移動を生活ルートとして発展してきた地域であり、鷺沼方面へのバスを増便しても限界がある。

先ほど意見に出ていた、地域包括ケアシステムが市の施策の重要な柱であり、地域密着がポイントだと思うので、向丘出張所を充実させるなど、大きな不便を被る向丘地区にどのように配慮するかという区全体のまちづくりを考えておかなければ、禍根を残すことになるのではないかと。充分検討してもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

市としても向丘地域の福祉のあり方は大変重要であると考えております。現在地域包括ケアシステムでは、心理職や社会福祉職などの専門職の職員が連携する多職種連携を進めております。そうした職員を各地域に配置することが難しいという実情もございます。そうした中で、職員が電動自転車で地域へ赴いておりますが、その労力よりも多職種が連携することを重視して取組を進めているところでございます。相談をしていただくために区役所にお越しいただくのではなく、相談の場として出張所を活用するなど、地域の皆様と意見交換しながら進めてまいります。

【テーマ：鷺沼駅周辺に望む公共機能】

- (11) 鷺沼駅前にはイベントを行える広場がない。センター南にはすり鉢状のイベント広場がある。今回の再開発で5,000人くらい集まれる広場を設けてほしい。

(まちづくり局地域整備推進課)

今回の再開発において、空地や広場をどのように設けていくかについて、今後再開発準

備組合と検討していくこととなります。5,000人という規模については、限られた空間の中では難しいものと考えていますが、再開発準備組合との協議の中でご意見を伝えてまいります。

- (12) 人口が減少する中で、どの地域も地域間競争が激しくなっている。最近では、田園都市線ではなく、晴海など東京の東側の人口が増えてきている。宮前区はまだ増えているが、将来的に選択して住み続けるまちになるかどうか重要。安心して住みやすく、女性が働きながら子育てできるまちにしていく必要がある。宮前区には大きなターミナル駅がない。宮前区だけ取り残されることのないよう、鷺沼駅に子育て機能などを充実し、今後も人口が増えていけるようなまちにしていけると良い。

(まちづくり局地域整備推進課)

市としてもご指摘いただいたとおりの認識を持っております。宮前区には交通結節駅がない中で、鷺沼・宮前平駅周辺地区を「地域生活拠点」と位置付け、鷺沼駅を再開発していく取組を推進しているところです。子育て世代が大変重要であると考えており、再開発準備組合にも、子育て機能が重要であるご理解いただいております。また、交通結節機能として、利便性を高めていくことで、周辺への発展にも寄与していきたいと考えております。

- (13) 今回説明のあった基礎調査の内容もまだはっきりした内容になっていなく、交通アクセスや公共機能についてもこれから検討していく中で、一番重要なのは移転するかしらないかということだと思う。その結論をどう出していくか知りたい。また、仮に移転することになった場合、移転した後の跡地の活用方法についてもしっかり検討してもらいたい。再開発が進んでいくと、跡地の話が後回しになるのではないかと懸念している。今回の検討で跡地まで含めて検討してもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

意見交換会でも移転するかしらないかという話し合いだけではなく工夫をしておりますが、一番大きな課題は移転するかしらないかになってくると考えております。その際、跡地をどうするかということも大変重要であると認識しております。跡地については、意見交換会でも様々なご意見をいただいているところでございますが、この区役所周辺に何が望まれるかということについても伺ってまいりたいと考えております。

仮に移転することになった場合でも、来年すぐに移転するわけではなく、再開発のスケジュールとして、平成33年度から段階的に工事を行うことを検討していると伺っております。そのスケジュールを考慮しながら検討していく必要があると考えておりますが、方針を策定していく際には、跡地についてどのように検討していくかという点も併せてご説明できるようにしていく必要があると認識しております。

- (14) 仮に区役所等が移転したとしても、現区役所等用地の効用を落とさないようにしてほしい。例えば、区役所周辺の住民は救急の際、聖マリアンナ医科大学病院や溝の口などに

搬送されるが、不便なため、救急病院を設置する。その他、高校や大学など文教の中心にする。宮前区には、定年退職後に勉強を始める人も多いので、中原区にある生涯学習プラザを移転するなど。

鷺沼の再開発の後に宮前平、宮崎台、道路の整備など区全体のまちづくりを進めてもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

宮前区全体のまちづくりを考えていくため、取組に「宮前区のミライを考える」と付けております。引き続き、区全体のまちづくりについて考えてまいります。

(15) 図書館について、建物の老朽化という話はあるが、中身の話が出てきていない。市から公表されている平成28年度図書館統計によると、市内に13の図書館・分館があるが、宮前図書館は来館者数・貸出冊数は中原図書館に次いで第2位で他の図書館に比べて非常に利用者数が多い。駅から遠い、坂が急だという話が出ているが、この状況はよく理解する必要がある。

多摩図書館は、向ヶ丘遊園駅から徒歩4分程度で区役所や市民館との複合施設になっているものの、利用率は高くない。利用者数は宮前図書館より18万人少なく、貸出冊数も22万冊少ない。場所が良く、綺麗な建物になれば人が来るとは言えない。

(市民文化局区政推進課)

貴重なご意見ありがとうございました。

【テーマ:その他】

(16) 市の職員は本音を話していない。今日初めて基礎調査の作業状況の中で金額が一部出てきたが、全体像を示さず市民の意見ばかり聞いている。鷺沼の再開発事業全体としての事業費はいくらなのか。そのうち国や県から補助金が出るのか、市の財政負担はどれほどなのか。計画段階なのでわからないのか、現時点での情報を示してほしい。

(まちづくり局地域整備推進課)

ご指摘いただきましたとおり、再開発事業の事業計画を立てている段階なので、全体の事業費については現時点では決まっておりません。再開発事業の補助金について補足説明させていただきます。再開発事業では、補助対象事業費に対して、事業者が3分の1、国の補助金が3分の1、残りの3分の1を県と市で負担するというのが一般的でございます。

(追加のご意見)

資料1の3ページに新施設想定整備の中で、「市街地再開発事業に伴う、市民館・図書館の床取得費に国庫補助金控除後の費用を記載」と書いてあることからすると、区役所の整備に補助金は入らないのか。

市民館・図書館のみ補助金を入れて移転し、跡地を区役所建替えの際の種地とすることもできる。建替え後の区役所跡地にオフィスビル、商業施設などを作り、賃借料を収入とするなどのシミュレーションをした上で、市民意見を聞くなどすべきではないか。

(市民文化局区政推進課)

補助金については、お読み取りいただいたとおり、区役所は現地で建替えを行っても、鷺沼に移転しても入りません。ですので、区役所については、その年度の歳入と市債を使って整備することになります。市民館・図書館が移転した場合は、補助金が入りますが、現時点では想定される整備費で算出しており、今後精査してまいります。現時点でも15億円の差がございます。非常に大きな額であると認識しております。仮に鷺沼駅周辺に移転した場合は、現在の区役所等の用地が跡地となり、様々な価値として還元もできるものと考えております。それは敷地を売ることに限らず、市民利用施設になるとまた別の価値が生まれるものと考えておりますので、金額面だけで判断できない今回の取組の難しさがあると考えております。

区役所の適正面積についても、50年後も分かりませんし、10年後でもどれだけ必要か分からない中で検討しておりますので、現在と同程度と仮定して検討をしているところです。また、現在の施設と新施設の想定される修繕費も算出し、トータルで必要になるコストを出す必要があると考え、作業を進めているところです。

- (17) 仮に鷺沼駅周辺に移転した場合、その建物は60年あるいは100年持つのか。その建物が老朽化した時の建替えなどはどうするのか。一部の便利な機能は鷺沼駅にも導入してよいと思うが、現在の場所は建替えて保持するべきではないか。災害が来ることを想定するならば2か所に機能を持っておくことで初めて万全になるのではないか。

鷺沼駅前は新百合ヶ丘駅前ほど広くないので、より混雑が懸念される。図書館や市民館も車でのアクセスが便利な現在の位置がよい。鷺沼駅周辺には、1フロアで、便利な機能と期日前投票などができるスペースだけ用意して、現在の位置はそのまま残すべきではないか。

(市民文化局区政推進課)

今後10年ほどで市全体の公共施設の老朽化が急激に進んでくることが予想されます。そうした中で、市としては、公共施設の数を減らしていくという方向性はございますが、機能の分散については、引き続き検討する必要があると考えております。

【テーマ:区民アンケート】

- (18) 今朝の新聞で知り、意見を述べたく参加した。今回の説明を聞くと、鷺沼駅周辺への移転ありきで進められているように感じる。区民アンケートも2,000名対象で、1,057名の回答があったとのことだが、宮前区の全住民は23万人程いる。1%程度に配られたもので、設問内容も賛成か反対かはっきりわかるものではない。35団体に説明・ヒアリングしたということだが、賛成か反対かはっきりしていない。住んでいる自治会にも何の情報も入っておらず、噂で知ったくらいである。もっと区民全体から平等に意見を聞いてまちづくりを進めてもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

鷺沼駅の再開発が予定されておりますので、移転ありきではないかというご意見は頂戴しておりますが、移転ありきで検討しているものではございません。

区民アンケートについては、仮に23万人に配布して1万人から回収できたとしても、残りの22万人のご意見が把握できないことになります。これでは、回収率が低いので、統計としては問題が生じてしまいます。統計学上では、10万人以上の母数に対しては400人程度の回答が得られれば、概ね確かな傾向が把握できるとされております。市としては、なるべく多くの方のご意見をお伺いしたいと考え、2,000名を対象とし、1,057名の方からご回答いただいているという状況です。このことは、今回お聞きした内容については、概ね確かな傾向が出ているものと考えておりますが、アンケートの結果だけで全てを決めていくわけではなく、また、団体への説明・ヒアリングだけで決めていくものでもございません。意見交換会やフォーラムなどの様々な取組を通して、検討してまいります。

【テーマ：宮前区全体のまちづくり】

- (19) 鷺沼駅前に移転した場合、災害時に支援センターとしての機能を果たしていけるのか疑問である。駅前の橋が渡れなくなった場合、消防や警察が国道246号を通過しなければならなくなる。支援物資を輸送する際、大型車両が入ってくることになるが、駅前でその機能を果たせるのか。移転の問題については、災害時のことも念頭に置いて検討すべきである。

(市民文化局区政推進課)

基礎調査の資料の中にございます、立地の比較検討の項目の中で、皆様にお伝えできるよう今後整理してまいります。

- (20) 民間事業者による鷺沼駅周辺の再開発は50年に一度の大きなチャンスだと思う。この機会をどのように活かしていくか。宮前区全体のまちづくりを考えるのが今回の取組だと理解している。

今後高齢化が進み、人口が減少していく中で、区全体の交通・アクセスは非常に大きな課題である。どうすれば高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちになるかということは考えていくべきである。まちの活力として、高齢者、若い人、子どもといった世代を循環させる必要がある。これからは共働きの時代なので、仕事場づくりなどの取組も重要である。

そうした中で、駅周辺にどのような機能があると良いか考えていく中の一部として、行政機能があった方が、区民の利便性向上になるのではないかと。

これまで交通不便地域はあったが、この機会に新規路線など、区全体の利便性向上に繋がる取組を考えていきたい。

(まちづくり局地域整備推進課)

今回の再開発を契機にバスバースを広げ、路線バスネットワークを拡充していきたいと考

えておりますので、ご意見を踏まえて検討してまいります。

(他の参加者のご意見)

実質的なバスバースの増設は1つではないか。聖マリアンナ医科大学病院の路線はどうなるのか。

(まちづくり局地域整備推進課)

現状4バースから6バースへの増設のため、2バースの増設予定となっております。聖マリアンナ医科大学病院の路線は現状のバスバースの中での増便となっております。

- (21) 民間事業者による再開発の機会に区役所等の移転を検討するということが、必ずしも移転する必要があるというものではない状況の中で、1年足らずの間に結論が出ることに不安である。今回の取組は区政改革、住みよい区づくりを進めるものだと思うので、もっと時間を掛けて検討してもらいたい。武蔵小杉の例を見ても駅前の再開発はしっかり時間を掛けて検討しなくては利用しにくい状況になることもある。

再開発ビルが何階建てになるかによって、市が負担する経費も変わってくる。これからのまちづくりに必要なのは、横浜の地域ケアプラザのような、各中学校区に1つあり、相談や活動もでき、デイサービスも受けられるものだと思う。仮に移転するのであればこのような機能を跡地に設けるなど、区民の意見をじっくり聞いて検討して進めてもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

仮に区役所等を移転しないという結論になり、そのように民間の事業計画が進んでいった場合のことも含めて、今後のまちづくりについて皆様からご意見を伺っているところですが、まずは1年間という期間の中で、より多くの区民の皆様から様々なご意見を伺って検討してまいります。

- (22) 今日初めて参加した。社会福祉協議会にも説明したとのことだが、社会福祉協議会の中で今回の話は聞いたことがない。この取組はかなりトップダウンのものなのではないかという印象がある。

再開発にお金を掛けるのではなく、福祉に労力もお金を掛けてもらいたい。

(市民文化局区政推進課)

福祉に掛けるべきお金を掛けて取り組んでいるものではありませんが、貴重なご意見として承りました。

- (23) 今日提出された意見票は、時間がない中で書かれたこともあり項目しか書けていない方もいるのではないかと。意見をしっかり集めていく取組が必要ではないか。

(市民文化局区政推進課)

意見票に書ききれなかった部分については、アンケートにご記入ください。アンケートは来週(8月31日)まで受け付けいたしますので、FAXでお送りいただいても結構です。

- (24) まちづくりは人と人の繋がりで広がっていくものだと考えている。宮前区は他区と比べて市

民活動が活発である。それぞれの分野で活動していることが、福祉や災害時の助け合いに繋がっていくのだと思う。それらの活動は現在の区役所の市民活動支援コーナーを拠点に生まれたものである。鷺沼駅周辺に移転してしまうと、現在活動している団体が活動拠点を失うことになるので、全て移転することには反対である。

(市民文化局区政推進課)

これまでに積み重ねて来られた歴史があることも踏まえて検討を進めてまいります。

5. 閉会のあいさつ

市民文化局 阿部コミュニティ推進部長からご挨拶し、閉会いたしました。